



かわらばんひとくら

令和三年（2021年）
10月号 Vol.23

水がささえる豊かな社会
独立行政法人
水資源機構
一庫ダム管理所

一庫ダムの公式ダムカードとオリジナルのプライベートダムカード（秋バージョン）を配布中！

今月の一庫ダム

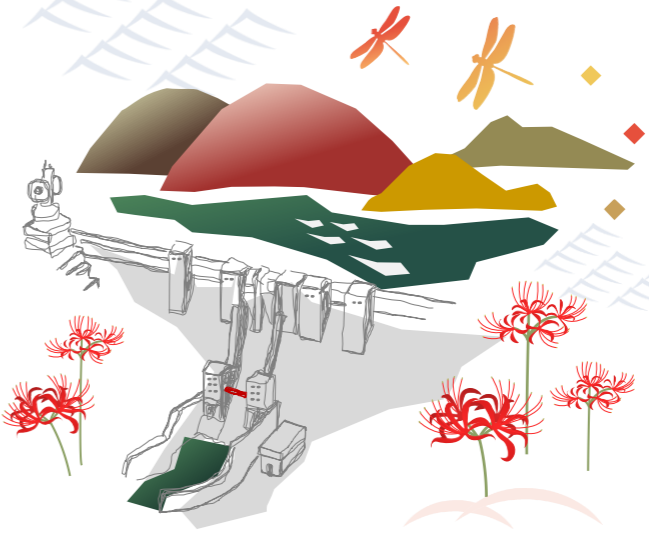
Topics

一庫ダムの貯水池運用

一庫ダムの貯水池運用は年間を通じて一定ではなく、夏季に水位を下げて冬季には水位を上げる運用を行います。夏から秋は梅雨や台風で大雨が降りやすい時期なので、あらかじめ貯水池を下げしておくことで、洪水の時にダムに貯め込むための容量（ポケット）を増やしておく、雨が少ない冬季は洪水を貯め込むための容量は少なくする運用を行っています。洪水期（雨の多い時期）と非洪水期（雨の少ない時期）で異なる貯水池運用を行うことを制限水位方式といいます。

洪水期と非洪水期

一庫ダムでは毎年6月16日から10月15日までを前線や台風による大雨が降りやすい時期の「洪水期」、それ以外の期間を「非洪水期」にしています。一庫ダムの年間降水量は約6割が6月～10月に降っています。



●雨量、貯水池状況、流況

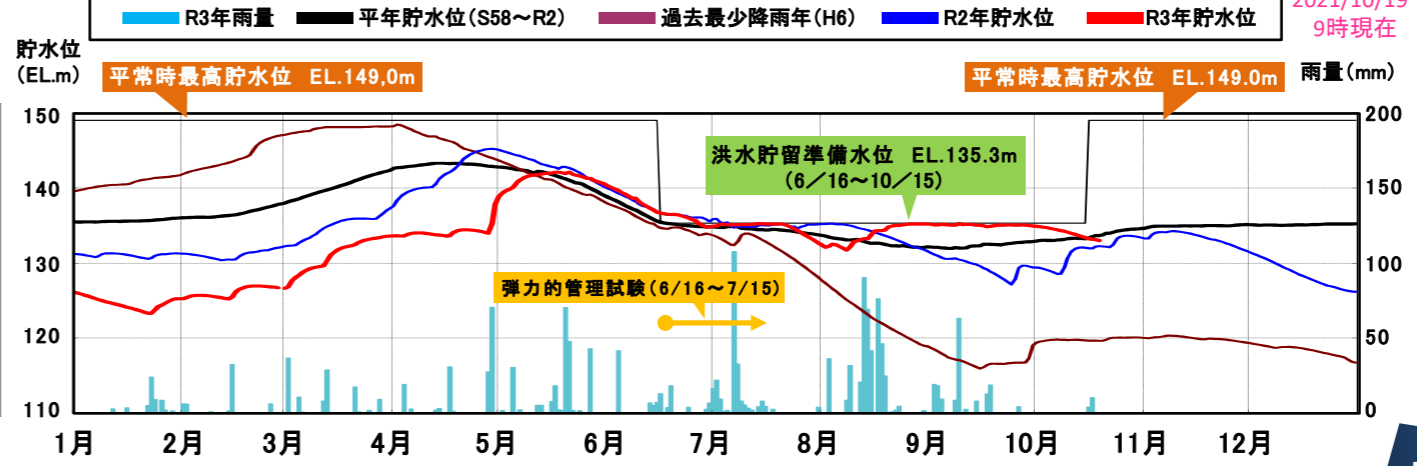
9月の月雨量（ダム流域平均雨量）は166.6mmで、
平年199.7mmに対し
約83%の雨量でした。

一庫ダムの下流河川の状況は、利水基準地点虫生（むしゅつ）へ3日間、約11万m³を補給しました。

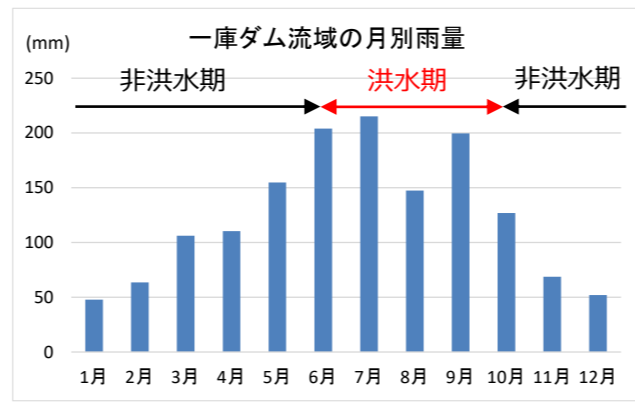
10月19日現在の貯水率は約43.1%です。

貯水池の状況
(R3.10.04撮影)
貯水位
EL. 134.73m

一庫ダムの主な年間貯水位曲線



S58~R2年の平均雨量



非洪水期の貯水率100%



洪水期の貯水率100%

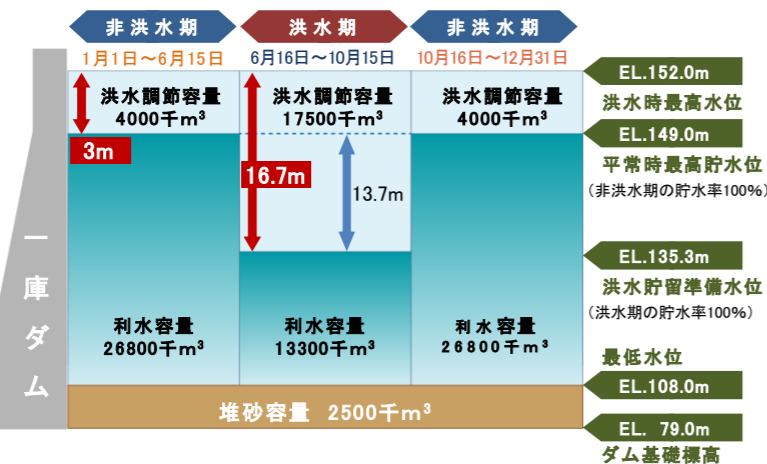


利水基準点
(虫生地点)
の場所

洪水期が始まる6月16日には貯水位を洪水貯留準備水位まで下げおく必要がありますが、いきなり下げることができないため、4月頃から少しずつ貯水位を下げる操作を始めます。この少しずつ貯水位を下げていく操作を「ドロップダウン」と呼んでいます。

逆に、非洪水期になる10月16日からは、ダムの下流に必要な水量を補給しながら、余った水量をダムにため込む操作を行います。

昨年はこの時期の雨量がとも少なく、ダムから補給する水量の方が入ってくる水量よりも多い期間が長く続いたため、非洪水期になっても貯水位が下がり続け渇水となりました。



ワンポイント豆知識

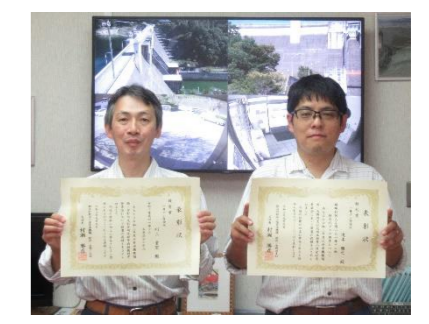
ダムの貯水池運用には、一庫ダムの様に雨の多い時期と少ない時期で異なる貯水池運用を行う「制限水位方式」や年間を通じて一定の貯水位で管理を行う「サーチャージ方式」、洪水の発生が予測された場合にだけ貯水位を下げる「予備放流方式」があります。このダムがどの貯水池運用を行っているか興味のある方は調べて見るのも面白いかもしれません。これであなただもダムマニア・・・かも？(笑)



ツイッターでも情報をお知らせをいち早く発信しています！
@jwa_hitokura



9月9日(木)に行われた令和3年度淀川本部管内技術研究発表会において、当管理所の川上貴宏が発表した「令和2年度の一庫ダム冬季湧水の対応」が、優秀賞4課題の一つとして、滝本雅之が発表した「環境DNAを用いた一庫ダム湖陸封化アユの調査について」が、特別賞3課題の一つとして、それぞれ表彰を受けました。優秀賞受賞課題は、水資源機構技術研究発表会にエントリーされます。



記念カード(コンプリートカード)が新しくなりました!

一庫ダムプライベートダムカード

sample



一庫ダムプライベートダムカードは、管理所職員手作りのダムカードです。季節ごとの春夏秋冬4種類があります。4種類全て集めて管理所にて提示された方には「記念カード(コンプリートカード)」を配布しています。このたび記念カードのデザインをリニューアルし、10月1日のダムカード配布再開に合わせて新デザインにて記念カードを配布しています。

季節によって様々な姿を見せる一庫の里山散策と併せて、一庫ダムプライベートダムカードをぜひ集められてはいかがでしょうか。

◆ダムカード配布場所◆
 【平日】午前9時～午後5時
 一庫ダム管理所
 (玄関横のインターホンを押しください)
 【休日】午前9時～午後5時
 玄関横のインターホンを押し、ダムカード希望の旨をお伝えください。

一庫ダムで見つけた秋の訪れ



ダムサイト左右岸下流広場に移植したヒガンバナは今年で3年目の秋を迎えました。毎年分球して球根が増え、花の数も増えてきました!

まだ暑い日が続く秋分の頃、一庫ダム周辺で秋の訪れを見つけました。一庫ダム直下にある下流広場では、今年も綺麗にヒガンバナが咲きました。このヒガンバナは一昨年植えたもので、緑の広場の中に、凛と咲く赤いヒガンバナの美しいコントラストが楽しめます。ヒガンバナは暦を知っているかのように、きちんとお彼岸の頃に咲き、不思議な自然の魅力の一つです。

また、実りの秋を迎えた山では、栗やアケビがたわわに実をつけ、秋の深まりと自然の豊かさを感じさせてくれました。



秋の紅葉、なぜ?

紅葉は樹木の種類により、赤や黄色に染まるものがあります。葉には光合成をつかさどる緑の色素クロロフィルと、それをサポートする黄色い色素カロチノイドが含まれています。秋になって日照時間が減ると、クロロフィルが壊れて分解される過程で、活性酸素が出てしまいます。そこで葉や木を守り、光をエネルギーに変換する働きを保つ、赤い色素のアントシアニンを形成し、落葉のきりぎりまで光合成を続けようとして、アントシアニンを作る仕組みを持たないイチゴなどには黄色く色づき、黄葉と呼ばれます。



周辺スポット紹介
 江戸時代の農家の暮らしを学ぶ
川西市歴史民俗資料館
 川西市深山池公園内に建つ茅葺きの2棟の民家で、一庫ダムの建設で水没した国崎地区の江戸時代の民家を昭和53年(1978年)に現在の深山池公園内に移築復元したものです。この2棟は、兵庫県指定重要



江戸時代の山村での生活をうかがい知ることができる貴重な建物です。

季節の行事 & 活動報告

エドヒガン保全作業再開

一庫ダム管理所では、「エドヒガン咲かそう会」の皆様にご協力いただきながら、エドヒガンの保全作業を行っています。お盆から8月末にかけては作業をお休みしていましたが、9月に入り再開しました。今回の作業は、エドヒガンを移植するための苗床整備。咲かそう会の皆様と協力してお盆前に除草していた場所の土を耕して、苗床を完成させました。エドヒガンの移植作業は冬に行う予定です。

※エドヒガン咲かそう会は、「溪のサクラを守る会」の有志の方が設立された会です。



苗木を植える間隔もチェック! 1つ苗木が来ても準備OK!

イオンモール猪名川 SDGs WEEK



9月21日から27日、イオンモール猪名川で行われたSDGs WEEK(エスディーズウィーク)地域イベントにおいて、一庫ダムで取り組んでいる「猪名川漁協との協働による河川環境改善の取り組み」と「ダム湖内におけるアユの再生産」についてパネル展示を行いました。一庫ダムにおける環境の持続可能性確保の取り組みを、買い物に來られる地域の皆様にご紹介。ただ、貴重な機会となりました。

独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所
 〒666-0153
 兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1
 TEL:072-794-6671
 FAX:072-794-0590
 一庫ダムHP

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の注意事項等、開園時間等の詳細はホームページでご確認ください。

〒6660153
 川西市美山台3-5-1(深山池公園内)
 (電話) 川西市教育委員会
 072-740-1244
 【営業時間】3月~11月 土・日・祝日
 午前10時~午後4時
 【利用料】 無料・駐車場あり